



ロータリー財団委員会

ロータリー財団
について



ロータリー財団について

- ・ロータリー財団の正式名称
国際ロータリーのロータリー財団

- ・ロータリー財団の使命

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

アーチ C. クランフ(1916年頃)

諸々の社会奉仕を
今まで通りに実行していくには
慈善・教育・そのほかの
社会奉仕の分野において
世界でよいことをするための
基金を作るのが、
極めて適切であると思われる

— アーチ・クランフ、1917年



ロータリー財団の歴史

- 1917年 1917年当時のRI会長 アーチC・クランフが「基金を作り、世界的規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野で何か良い事をしよう」とアトランタ国際大会で提案しました
- 1923年 セントルイスの国際大会で、テネシー州ナッシュビルロータリークラブのウイルR. メニアJr. を中心とする委員会によって起草・提案された決議23-34を採択
- 1927年 ベルギーのオステンドで開かれた国際大会で、奉仕部門を現在の四大奉仕、すなわち、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕に分けることが決定されました。
- 1928年 ミネアポリス国際大会で「ロータリー財団」と正式に命名されました。
- 1930年 最初の補助金「国際障害児協会の」に500ドルの補助金を授与
- 1947年 ホール・ハリスの逝去後「追悼は献花ではなくロータリー財団への寄付」とハリスの意思が電報でロータリアンに伝えられ130万ドルの追悼寄付が集まる。
- 1957年 ポール・ハリス・フェロー認証プログラムを創設
- 1965年 「マッチング・グラント」プログラムの開始

- 1978年 大規模な人道的取り組みを可能とする「保健、飢餓追放及び人間性尊重(3-H)補助金プログラム」を設立
- 1979年 ローターリーがフィリピンで600万人の児童へのポリオ予防接種活動を開始。
- 1980年 「予防接種を通じてポリオを撲滅する」ことがロータリーの目標
- 1979年 ローターリーがフィリピンで600万人の児童へのポリオ予防接種活動を開始。
- 1980年 「予防接種を通じてポリオを撲滅する」ことがロータリーの目標
- 1981年 恒久基金を創設
- 1985年 ポリオプラス・プログラムを創設
- 1988年 ポリオ予防接種活動でロータリーの成果がきっかけとなり、世界保健総会が世界ポリオ撲滅推進活動(GPEI)を創設。
- 1994年 西半球のポリオ撲滅を宣言。
- 1999年 ローターリー平和センターを設立

- 2000年 オーストラリアから中国まで広がる西太平洋地域のポリオ撲滅を宣言。
- 2007年 ビル&メリンダ・ゲイツ財団が1億ドルのチャレンジ補助金をロータリーに授与
- 2012年 インドがポリオ常在国のリストから外れる。
- 2013年 未来の夢計画導入
簡素化された補助金モデルを導入
新しい補助金モデルの下、グローバル補助金と地区補助金の2種類を導入。これに伴い、3-H補助金、マッチング・グラント、旧地区補助金、国際親善奨学生、研究グループ(GSE)は廃止。
- 2015年 約30年にわたるロータリーとパートナー組織の懸命な取り組みにより、1988年のGPEI発足以来、ポリオの発症数は99.9%減少。
- 2017年 財団100周年の記念すべき年に再びアトランタにて国際大会が開催されました。

ロータリー財団プログラム

●地区補助金(DG)

地区補助金は、地元や海外の地域社会のニーズに取り組むための、比較的規模の小さい、短期的な活動を支援します。各地区は、この補助金を配分するプロジェクトを独自に選びます。1プロジェクト当たり30万円を上限

●グローバル補助金(GG)

グローバル補助金は、ロータリーの6つの重点分野に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動を支援します。補助金プロジェクトのスポンサー(提唱者)は、国際的なパートナーシップを組み、各地の地域社会のニーズに取り組みます。プログラムの予算3万ドル以上。

●ポリオプラス

●ロータリー平和フェローシッププログラム

地区補助金(DG)の種類

地区補助金プロジェクト

地区補助金は、地域社会と海外において、幅広いさまざまな人道的・教育的活動を支援するものです。クラブが実施する社会奉仕活動や国際奉仕活動が該当しますが、一定の条件があります。

地区補助金の対象となる活動は、次の活動です。

- ロータリー財団の使命にあてはまる活動
- ロータリアンが積極的に関与する活動

地区補助金は、ロータリアンが柔軟性をもってプロジェクトに活動出来る補助金で、地区財団活動資金(DDF)を通じて提供されます。

地区補助金奨学生

ロータリーの理念に即した修学と奉仕を志す「地区補助金奨学生」は所定の手続きにより募集選抜し、奨学金の給付等を通じて国際理解と世界平和の促進を支援します。

授与する奨学金の上限額は、20,000ドルです。外国語の勉強ではなく、1 学年(9 ヶ月間)学ぶ正規の学生。2018 年9 月1 日から2019 年6 月30 日までの新学期から大学・大学院で就学を開始する者。

本年度の地区補助金の一部

Ichikawa Civic	地域社会の発展 (一般)	「小学生の食育を推進する運動」青少年健全育成の一環として、文科省が提唱する「早寝早起き朝ごはん」に準じて、朝食を摂る大切さと規律正しい生活習慣を体感するための事業です。補助金の利用目的は、会場設営費、運営費、調理食材費、参加賞に使用します。
Ichikawa South	地域社会の発展 (一般)	「常夜灯公園の照明灯への時計設置」常夜灯公園に時計を寄贈する。地域住民の利便性を目的とした環境整備。補助金の利用目的は、ソーラー式電波クロック購入費、設置費として使用します。
Funabashi- Minato	教育(ボランティア奉仕)	「船橋市立宮本中学校・愛のコンサート」船橋市内の特別支援学級の生徒と一般生徒を対象に世界的に有名なオペラ歌手、佐藤のリ子さんのコンサートを開催し、夢や目標を持つことの大切さを特殊学級の生徒と健常者に体験してもらう事業です。補助金の利用目的は、出演料費、ピアノ移設・調律費、感想文及び記録冊子作成費としてしようする。
Funabashi West	地域社会の発展 (ボランティア奉仕)	「船橋西RC50周年記念事業 船橋RC障がい者支援ソフトボール大会」障がい者スポーツを通して、障がい者と支援団体の交流及びスポーツの発展を図る事により、障がい者への理解を深めスポーツ活動支援を目的とする事業です。補助金の利用目的は、優勝カップ・賞状・寄贈ソフトボール購入代費、傷害保険料に使用します。
Funabashi East	地域社会の発展 (一般)	「船橋市植栽支援プロジェクト」公園に桜を植栽する。地域の緑化と地球温暖化への取り組み活動の啓蒙と地域住民の憩いの場の提供を目的とした事業です。補助金の利用目的は、植栽費、広報ポスター制作費に使用します。
Funabashi	地域社会の発展 (一般)	「未来を担う青少年育成のためのプロジェクト」船橋市中生対象に、様々な苦難や挫折を乗り越えて夢を実現させた船橋市ゆかりの著名人を招いての講演、特別な能力・さいのを持ち合わせずとも強い意志で様々な困難に立ち向かう姿勢を育成する活動です。補助金の利用目的は、講師講演料・交通費、記念品購入費、参加者記念品購入費として使用します。

地区補助金の活用傾向

教育（一般）	12	34%
地域社会の発展（一般）	11	31%
教育（ボランティア奉仕）	4	11%
地域社会の発展（建物の修復）	3	9%
教育（ボランティア奉仕）	3	9%
保健（一般）	2	6%
計	23	

グローバル補助金(GG)の種類

グローバル補助金プロジェクト

- ・人道的プロジェクトの使用にあたっては、活動が実施されるクラブ(地区)とそれ以外のクラブ(地区)がパートナーとなって協力することが求められます。
- ・双方が補助金を申請する前に参加資格の認定を受ける必要があります。
 - 参加資格 ① クラブ会長と会長エレクトがクラブ覚書(MOU)に同意し署名
 - ② 任命を受けた会員が地区主催のロータリー財団補助金管理セミナーに出席します。
- ・その他の要件 ロータリーの6つの重点分野に該当する事。

グローバル補助金奨学生

ロータリー財団が定めた6つの重点分野のいずれかに合ったキャリアを目指し、大学院レベルの研究目標もそれに沿ったものであり、海外の大学院で勉学する意欲ある留学生に対し40,000ドル(DDF2万、WF2万)を上限に奨学金を授与します。

グローバル補助金の傾向



疾病予防と治療

33%

補助金数 378 2700万ドル



水と衛生

23%

272 1890万ドル



基本的教育と識字率向上

173 1030万ドル



経済と地域社会の発展

165 920万ドル



母子の健康

93 690万ドル



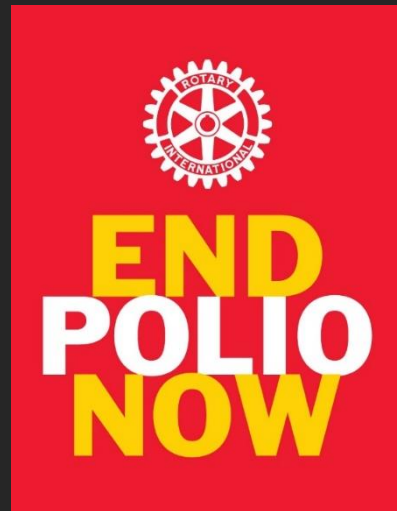
平和と紛争予防／紛争解決
(ロータリー平和センターを除く)

84 370万ドル

ポリオプラス

ポリオプラスは、国際ロータリーの特別プログラムであり、撲滅の認定が達成されるまでは、ほかのすべてのプログラムに対して優先される

(ロータリー章典40.010.)



野生株によるポリオ症例数

ポリオ	国	2018年 1月1日 ～ 9月18日	2017年 (通年)	2016年 (通年)	2015年 (通年)	2014年 (通年)
常在国	パキスタン	4	8	20	54	306
	アフガニスタン	14	14	13	20	28
	ナイジェリア	0	0	4	0	6
常在国 以外	赤道ギニア	0	0	0	0	5
	イラク	0	0	0	0	2
	カメルーン	0	0	0	0	5
	シリア	0	0	0	0	1
	エチオピア	0	0	0	0	1
	ソマリア	0	0	0	0	5
	世界合計	18	22	37	74	359

「ロータリーの友」2017年11月号
私たちの目標「ポリオのない世界」



私は小さい頃からずっと
医師になりたいと思っていました。

[illegible]

ポリオ撲滅
の
パートナー

1979～80年代前期:
ロータリーは東南アジア
とラテンアメリカで、ホ
リイ・チャリティ・カン
ペーンをスタート。1979年にフィ
リピンで始まり、カンボ
ジア、ハイチ、モロッコ、
パラグアイ、シエラレオ



1998年：ジュネーブで開催された1998年世界保健閣会で、ロータリーはホリウを撲滅するための世界的広域を推進します。さらに、WHO、CDCとユニセフと共に世界ポリオ撲滅推進活動（GPEI）を開始

●ロータリーで、ボリスを助けた。ボリスワタクシ食事中の平手にも投擲しよ取り組みました。雪村陽成は2,800万ドル。1988年イザラムフィア国際大会ロータリーは、目標額の倍の2億4,700万ドルに達

いたのです。
 伝染病の調査が行っていることの多くは、このよう
 なことで、伝染病を避けて、どのように近づいたかを
 調べ、そして、感染を予防するためには何をすればいいの
 かを研究し明かそうとしています。

民はもじりてグループで、誰と誰が誰と誰であるかという疑問
 にも答へられず、自ら先住していた、ヘネソリス・
 イグナシオ・デ・サント・ロドリゴで戦死した人々の遺骨を
 発見した。アメリカで毎年1万5000人の子供が絶食死
 する。何れ、彼が命を絶したのだ。

その時、彼はコロンビアからよく聞かされたように、私
 たちの病気の苦痛やワグネルの苦痛を想像していたのだ
 である。幸い彼は死ななかつた。何年か後、その子
 がコロンビアに帰ったのだ。その頃、私は彼が、息子自から
 二年生になったのだとす

コロンビアでワグネルの苦痛を知ること、私は何年
 ぶりかというほど大きなショックを受けた。

私は1955年に生まれまして、父の代から、ボリスのために「ボーリッシュ」を習得しました。アメリカで専ら演奏しました。当時、40年ほどは演奏を続けていた演奏家でした。ボリスのソプラノの習得の経験が役立ったためです。1980〜90年に渡ったボリスの音楽の才能は、これまで見たことがないものでした。

音楽が文化と、国とは、自国の子どもは、文化によって、また受け継がれた音楽を演奏して、また、その文化を伝えていきました。ボリスのソプラノは1980年代にボリスのソプラノと演奏されました。

私が主筆の後も、ボリソフの思召は生々々々伝ふて
まいた。雑誌のワグネル論は終結しにふれて、さ
うなるといふ間に、新聞のワグネルのキャンペーンが、
私も子どもの時、このやうな新聞紙を讀むことがあ
りて見えてゐた。

ボリソフのワグネル論、當時したワグネルの代表例に
なり、決行前にこれに對するものは、新聞紙が、下
りやうの意地悪な時代にはあつた事だ。でも、
ボリソフは始終おして新聞論に對しては、大衆的戒めまで
ある。

ホリウイのスイカ色の中にある緑帯を脱します。その緑帯が、次第に知られると、番付上戦術に似てする事が多くなってしまし、その結果、凶悪化傾向（アノド）になり、至る所最かなりなり、逃げたり、伸ばしたりすることができなくなります。ウイのスイカ帯は元々には凶性を表わし、裏面は無くなり、そしてついでに捕食があります。またこの時期に他の動物に食べられ死に、呼吸できない状態も、海に沈むこともあります。

[illegible]

重要43です

2011年に、私はゲイツ財団の
今の任務を引き受けました。

その時には、フリーターとアルバイト制団結すでに強力なパートナーでした。アルバイト団が多くの模範プログラムに所属する数に匹敵する。フリーター、学生、家庭を助けるため

このころ、インドで発見された樹皮薬の成分が知られるようになり、樹皮社会に話され、使用の地域が徐々に手の届くところまで来たことを知られるようになり、また、ロータリーとグレイズ樹皮は必ず必要不可欠なものとなり、WHO、CDC、USセーブザチルドレンによって評価する世界薬草と樹皮社会の中心（GPEI = Global Phyto-Biodiversity Initiative）による数値にわたる樹皮社会

[illegible]

彼で結託することばかりなのです。なぜならそれは、
悪魔に対して戦うことを意味するからです。もし、
ネオオウリスがそこへ到達したら、すでに閉鎖した
ところと同等な可能性もあるのです。わたわれは、
世界で最も危険なところと認識し、最も厳格にとい
ふに及ぶべきものにより活動を開始していかなくては

だが「多く受ける疑問は、ボリスが味方とからな
 った」といふ言ふことができるのかという疑問で
 す。是、否。自説の「味方」に差し替えてみるとどう
 か。読解するのには役にたつて書いていません。
 新年1月を隔てて、最初のボリス見聞記が19頁に
 及ぶという書がありました。今年のは初めてです。し
 かし本年にボリスが捕獲されたかどうかにわたしが知る
 ところではないのは、3月刊の雑誌の巻末の巻く時です。

以上の二つの性質のうちで構成成分とは相違する。
 仏教の哲学として、人間の存在はされたようにばかりも
 理解できると思えてゐる。動物は自然の力に順応して
 生き延びるだけではない、完全になくもならない。
 私は動物と人間とを分けてゐる。もつと意識的にその
 ちのちの「世界」の神を見るかもしれない。しかし、私は
 信じてゐる、内面をつたなく自分の存在に集中し、自然
 に従ふためのなるべき自由に愛し合ふことを望んでゐる。
 死がどうものか、人々がどれほどそれを恐れてゐたか、
 うまく説明することができない。そして私は信じてゐる。

このような現状から、野村は総合では、1995年に、
「フ」を削減することを決定した。い・た・り・は・そ
う。夢に思っていたように、バーナリーは結局から
の意思を自分のものと考え、この巨額の削減の決

から多くの同志を交錯したからです。

私はこの一時期の経験から、改めて、我々の同志に決意を述べ、戦後からこの前夜、戦国であるという認識がもたらすこと、民族復興と、その発展を求めた。

2000年、杉山イマダで8400万(伊勢・富田・津田川)と、
 後に国産に急来れ、御家マヨイと御宿マヨイがシグネチャー
 作りました。そのころは、ヒ、タリ、がこれ国でどの、
 うに活動するのをお祈りした。今、
 ローターの活動の多くは、そのお祈りに応じてありま
 す。このような活動には、一員は賛成が必要であり、
 パートナーは、必ずしも賛成が必要ではありません。この活動
 は隠れたという意図も明らかになっていました。彼ら

[illegible]

大朝に出席しては、タラマンはギリシア保護国が在耶に
参っているということ、そしてそれが如何なること
かということを人々に説明してくれました。彼らは神聖国
に對するものゝ爲に、彼らがギリシア保護を主張するこ

インスピレーションをなくすことは、神聖でした。ムンバ
イ周辺の人口が激増した理由から山奥にある村々まで、
私たちは、全ての子どもがソラチンを受けたことを確認
しなければならなかった。

[illegible]

前にたどり着き、演劇の目的を達成する方法を知り、受け止めてくれる。演劇の目的は目的と手段とを区別して見なければならぬ。地には健康を考えたことがあることが分りました。ここには健康の目的から健康の手段がある。健康とはそれだけではないと知っている。健康は目的と手段とを区別して見る方法を知っている。健康とは健康の目的と手段とを区別して見る方法を知っている。



資料集：リスボン協定
 南大側では、ロータリーとケイツ製炭酸の協力関係を確認に試みすると発表。ケイツ製炭酸は、2012年まで、1年につき最多340



「ロータリアンと一緒に働くことで一番心を打たれたのは、それぞれの国での情力的な責任感です」



ポリオウィルスは脊柱の
その細胞が一度破壊され
がなくなり、回復は
肺や横隔膜
ウィルスは
るまでの数
スは便とともに排出され
ルスが生きられるのは1
せる人を見つけない
す。感染の連鎖を断ち切



我々にできる事は？

ポリオプラスへ1人当たり30ドル以上の寄付

Advocacy(アドボカシー)

特定の問題に対する政治的提言や政策提言の事です

SNSでの拡散・募金活動など

ロータリー平和フェロープログラム

ロータリー平和センターはポール・ハリスの平和への願いを受け止め創設されました。一世紀にわたり国際平和を謳ってきたロータリーが初めて、正面から平和貢献の為に立ち上げたプログラムです。

世界の100以上の大学を専門の委員が調査し7センター（当初）を作ることに決定しました。

ロータリー平和フェローは毎年世界競争制のもと国際関係や平和研究、および紛争解決の分野の修士号取得プログラム（15～22カ月）に50名、専門能力開発修了証取得プログラム（3カ月）に50名が選ばれ、世界の7大学に設置されている6つのロータリー平和センターで研究を行います。

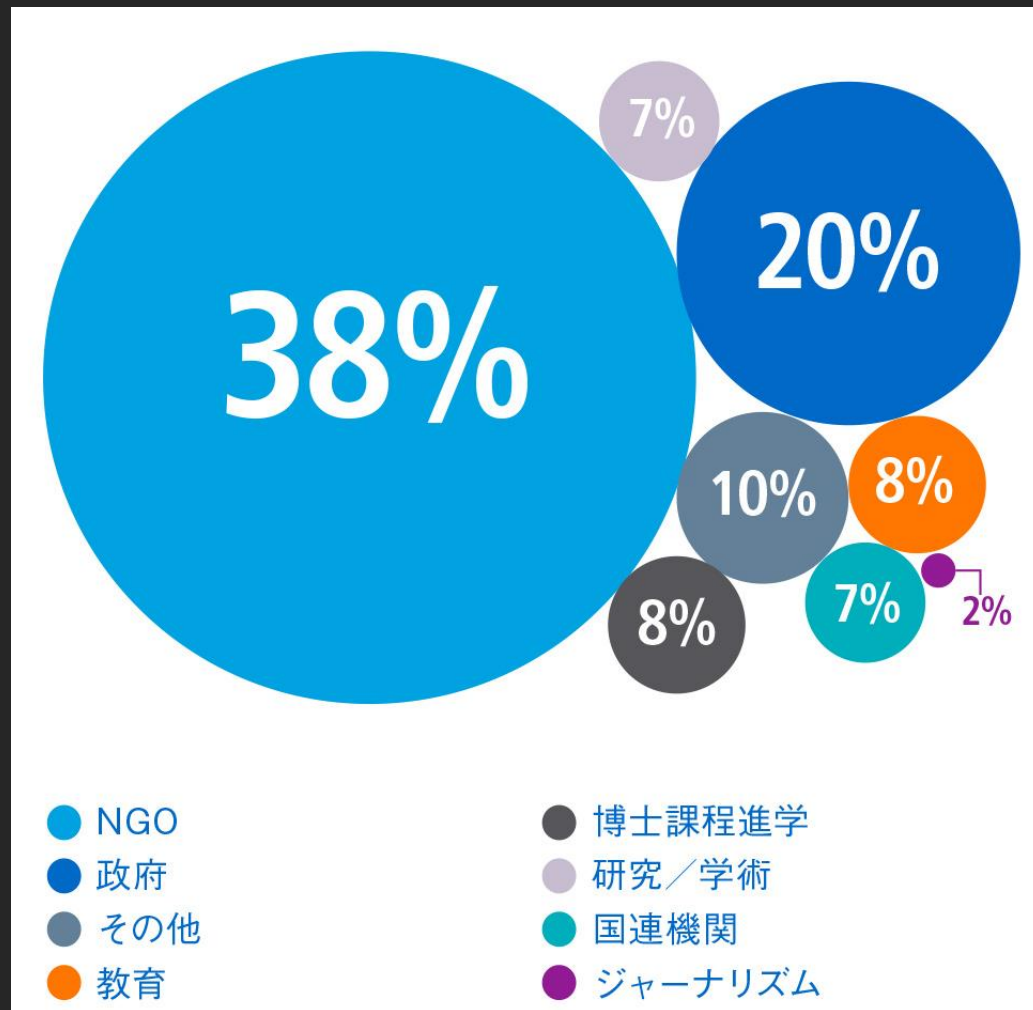
ロータリー平和センター

ロータリー平和センターは以下の7 大学にあります

1. 国際基督教大学(東京, 三鷹市)
2. クイーンズランド大学
(オーストラリア、クイーンズランド州)
3. ブラッドフォード大学(英国、ウエスト・ヨークシャー州)
- 4、5. デューク大学／ノースカロライナ大学チャペルヒル校
(米国、ノースカロライナ州 * 2校で1ロータリー平和センターを共有)
6. ウプサラ大学(スウェーデン、ウプサラ)
7. チュロンコーン大学(タイ、バンコク)

ロータリー平和センター卒業後の就職分野

平和フェローシップの学友は、各国政府、非政府組織、軍、警察、教育、人道支援団体、司法、国際組織のリーダーとして活躍しています。



ホストエリア協議会

ロータリー平和センターの所在地域の周辺地区ではホストエリアを構成しています。

日本では国際基督教大学が所在する

第2750地区東京 がホスト地区として中心になり、近隣の

第2580地区東京

第2590地区神奈川

第2780地区神奈川

第2770地区埼玉

当第2790地区千葉 計6地区でホストエリア地区を形成しています。

ホストエリアには、毎年新しいロータリー平和フェローを受け入れる特別な課題と機会があります。ロータリアンによる受け入れはロータリー平和フェローの成功に欠かせないものであるため、フェロー一人一人にロータリアンのカウンセラーが割り当てられます。また、毎年日本全国のロータリアン一人一人から寄付される「15円」から唯一の被爆国で平和研究を行うフェローたちの広島研究旅行とホストエリアの維持活動の為にあてられています。更に第2790地区はこのプログラムに毎年25,000ドルをDDFから寄贈し平和推進地区に指定されています。

寄付の種類

年次基金

毎年ご寄付をいただく必要があります
寄付額の50%は3年後地区に戻ります

ポリオプラス

ポリオ撲滅活動を支援します

恒久基金

元金はそのままだに、収益の50%がDDF
残りの50%がWFにあてられます
その他冠名基金などもあります

その他基金

承認済みの補助金プロジェクトへの
寄付災害復興基金など

地区の寄付目標

年次基金

会員一人あたり
150ドル

ポリオプラス

会員一人あたり
30ドル

認証レベルと認証品

ポール・ハリスフェロー(PHF) マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(MPHP)	年次基金、ポリオプラス、その他に累計1,000ドル以上寄付された方。その後1,000ドル毎にマルチプル・ポール・ハリスが授与されます。(認証ポイントを含む)
ベネファクター	恒久基金に1,000ドル以上寄付された方。 (認証ポイントを含まない)
メジャードナー(MD)	寄付分類に関係なく寄付の累計が10,000ドルに達した個人または夫婦。
アーチ・クランフ・ソサエティ(AKS)	寄付分類に関係なく寄付の累計が25,000ドルに達した個人または夫婦。

PHF	\$1,000 ~	認証状と襟ピン
PHF+1	\$2,000 ~	襟ピン(サファイヤ 1粒)
PHF+2	\$3,000 ~	襟ピン(サファイヤ 2粒)
PHF+3	\$4,000 ~	襟ピン(サファイヤ 3粒)
PHF+4	\$5,000 ~	襟ピン(サファイヤ 4粒)
PHF+5	\$6,000 ~	襟ピン(サファイヤ 5粒)
PHF+6	\$7,000 ~	襟ピン(ルビー1粒)
PHF+7	\$8,000 ~	襟ピン(ルビー2粒)
PHF+8	\$9,000 ~	襟ピン(ルビー3粒)



ポール・ハリス・ソサエティ



ポール・ハリス・ソサエティ会員とは毎年1,000ドル以上をご寄付いただく事をお約束いただくことでご入会いただけます。

PHS会員には、その貢献を称えるための特別な襟ピンが贈られます。

現在当地区では現在35名のPHS会員がおります。今後当地区ではPHS会員の拡大に今後力を入れていきます。

地区財団活動資金 (DDF) までの流れ

3年前の年次基金寄付の
総額 343,352ドル

50%

50%

地区財団活動資金 DDF

国際財団活動資金 WF

運営費5%

㊦ 3年前の年次基金総額 × 50%
171,176ドル

㊦ 前年度恒久基金の収益の50%
30,698ドル

㊦ 前年度の繰越金
90,552ドル

㊦ ~ ㊦ の総合計 292,426ドル

地区補助金 99,334ドル
上限 ㊦ + ㊦ の50%

グローバル補助金
85,000ドル

PJ15,000ドル × 3件 奨学生20,000ドル

ポリオプラス寄付
50,000ドル

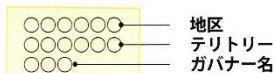
平和センターへの寄付
25,000ドル

予備費
33,092ドル

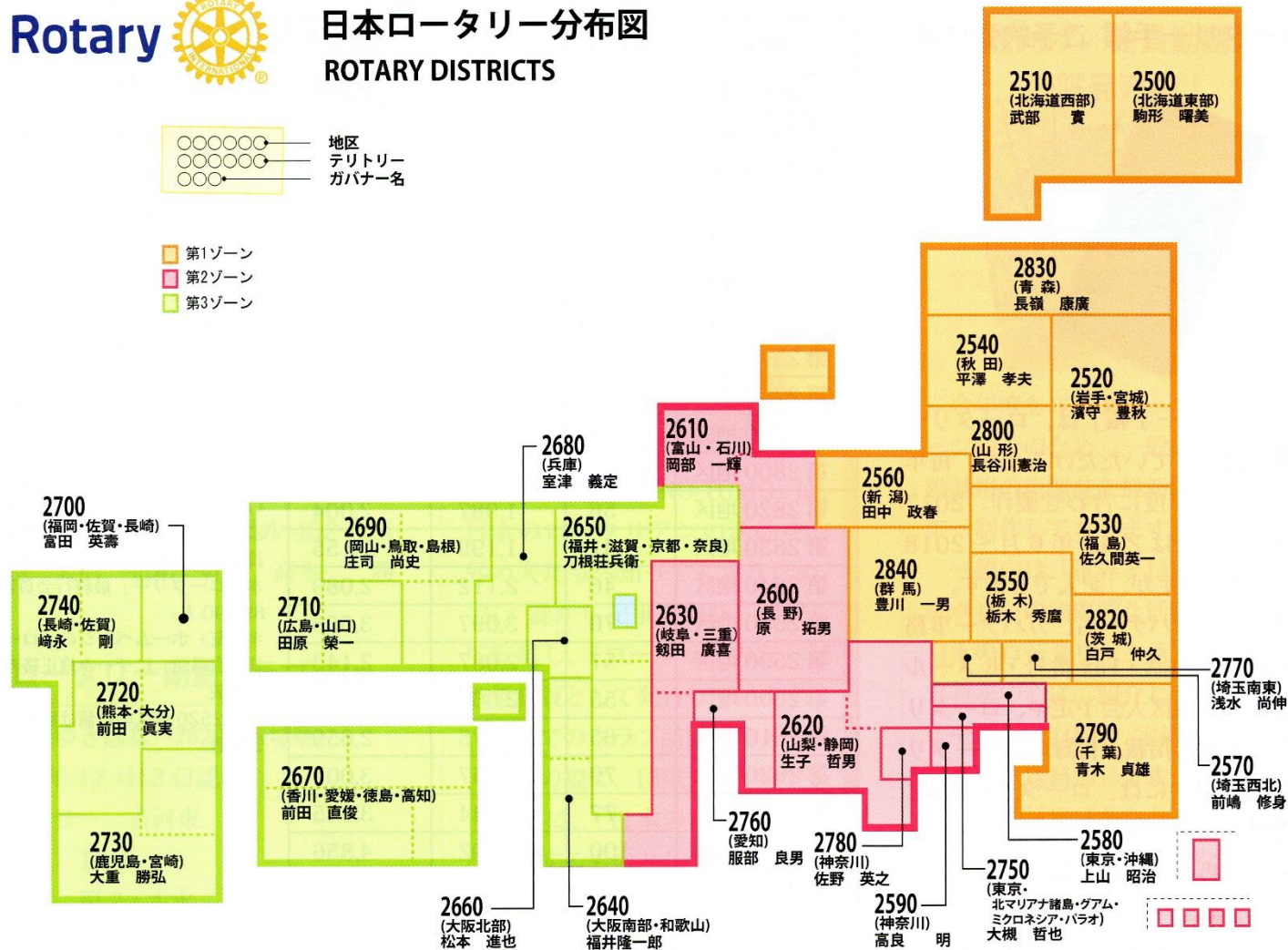
日本の寄付状況



日本ロータリー分布図 ROTARY DISTRICTS



- 第1ゾーン
- 第2ゾーン
- 第3ゾーン



ロータリーの友ホームページ www.rotary-no-tomo.jp に各地区のホームページをリンクしています。

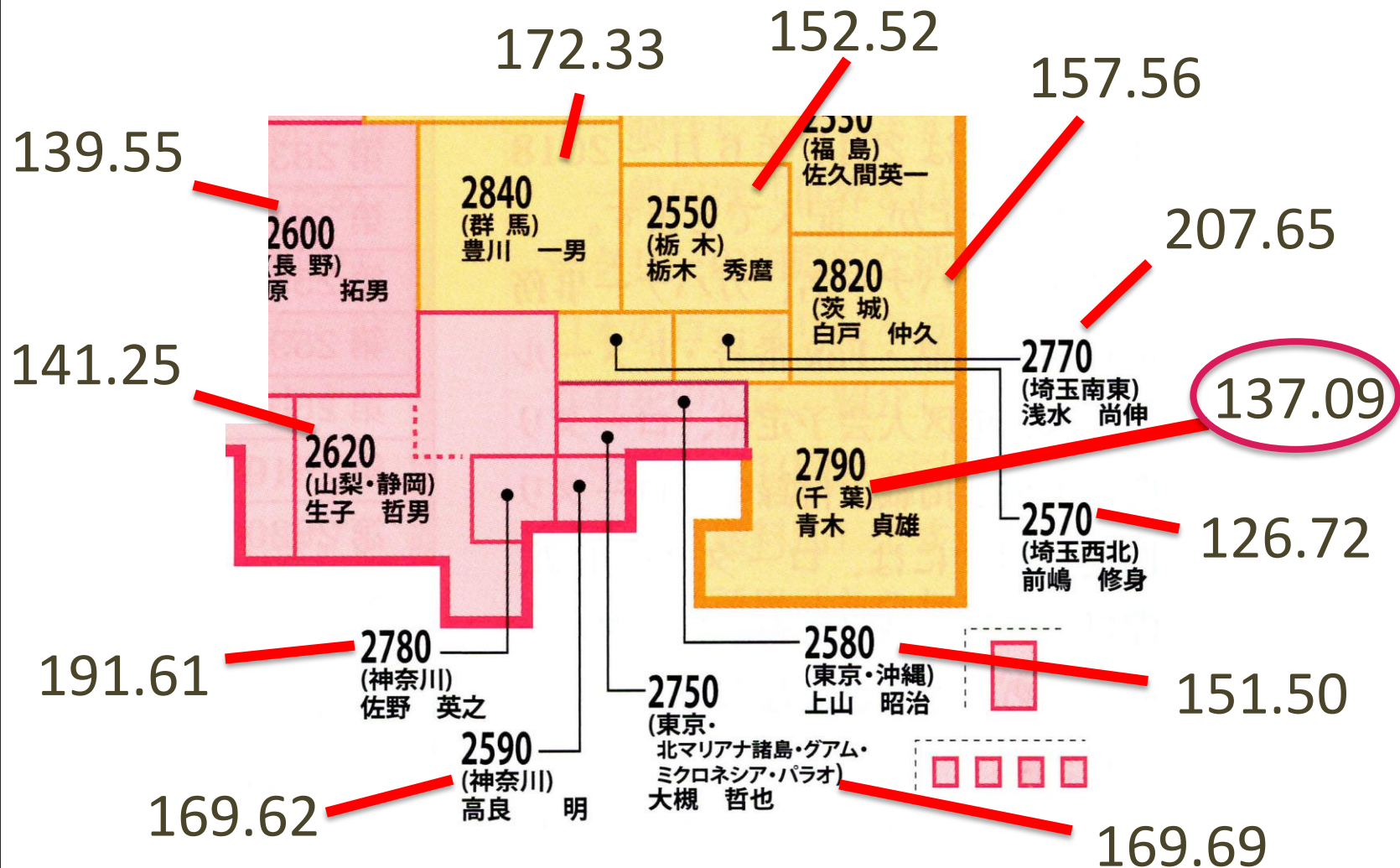
日本国内の地区別寄付状況

		地区	会員数	一人当り 年次基金	年次基金
1	埼玉南東	2770	2,541	207.65	527,630.67
2	福井・京都・奈良・滋賀	2650	4,575	204.43	935,265.34
3	大阪北部	2660	3,570	193.43	690,550.16
4	神奈川	2780	2,328	191.61	446,063.83
5	群馬	2840	2,063	172.33	355,520.29
6	東京・北マリアナ諸島・ グアム・ミクロネシア・パラオ	2750	4,759	169.69	807,565.59
7	神奈川	2590	2,045	169.62	346,879.90
8	岡山・島根・鳥取	2690	3,023	157.94	477,460.53
9	愛知	2760	4,776	157.65	752,943.19
10	茨城	2820	1,955	157.56	308,028.97
11	栃木	2550	1,703	152.52	259,743.18
12	東京・沖縄	2580	3,020	151.50	457,522.58
13	新潟	2560	2,071	146.94	304,306.23
14	岐阜・三重	2630	3,089	146.33	451,998.72
15	静岡・山梨	2620	3,005	141.25	424,450.85
16	長野	2600	1,921	139.55	268,075.79
17	千葉	2790	2,763	137.09	378,782.78
18	広島・山口	2710	3,256	136.05	442,976.71
19	北海道西部	2510	2,540	135.89	345,168.59
20	石川・富山	2610	2,624	131.69	345,545.61

34地区中
17番目



関東エリアの地区の寄付実績



過去5年間の平均(1人当たりの寄付額順)

順位	地区	都道府県名	13-14年度	14-15年度	15-16年度	16-17年度	17-18年度	平均
1	2770	埼玉南東	203.9	202.2	205.8	207.6	207.7	205.44
2	2840	群馬	165.5	171.6	179.2	169.5	172.3	171.62
3	2780	神奈川	167	158	161.3	177.7	191.6	171.12
4	2750	東京・北マリアナ 諸島グアム・ミクロネシ ア・パラオ	169.9	166.4	159.4	171.9	169.7	167.46
5	2590	神奈川(横浜・川 崎)	166.4	158.1	160.9	173	169.6	165.6
6	2820	茨城	148.2	152.6	146.8	156.9	157.6	152.42
7	2580	東京・沖縄	135.9	138.1	143.1	170.4	151.5	147.8
8	2550	栃木	134.5	147.5	141.6	149.1	152.5	145.04
9	2570	埼玉西北	152.9	128.5	138.9	149.1	126.7	139.22
10	2790	千葉	98.9	117.9	126.3	125.2	137.1	121.08

地区の寄付実績2017-18年度

年次基金寄付総額 \$ 378,875

1人当たりの寄付 \$ 137

日本全国の平均 \$ 144

150ドル以上 26クラブ(57クラブ未達成)

最も多いクラブ1人当たり \$ 542

最も少ないクラブ1人当たり \$ 14

地区の寄付状況 直近7年間

クラブ名	会員数	年次基金	その他の基金	恒久基金	合計	寄付クラブ	寄付ゼロ
2011-12年度	2,701	\$352,735	\$81,577	\$40,002	\$474,313	82/84	2
2012-13年度	2,678	\$316,058	\$37,608	\$57,250	\$410,916	77/84	7
2013-14年度	2,697	\$266,682	\$41,428	\$37,600	\$345,709	70/84	14
2014-15年度	2,709	\$319,455	\$55,609	\$54,976	\$430,040	83/84	1
2015-16年度	2,719	\$343,352	\$29,214	\$55,603	\$428,171	84/84	0
2016-17年度	2,732	\$341,934	\$45,881	\$54,118	\$441,934	83/83	0
2017-18年度	2,763	\$378,875	\$66,712	\$49,346	\$494,934	83/83	0

昨年度も2年連続日本国内から寄付ゼロクラブをなくす事ができました。

日本国内クラブ数約2,264クラブ

1/2,264を当地区から出さないようご協力をお願いします。



財団がもたらしたものの



Jean-Mark Giboux

世界でよいことをしよう 最初の一步はあなたからの寄付から始まります。